

日本文化の魅力を上海、そして世界へ発信 上海万博によせてポップカルチャーから伝統文化までを紹介

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)では、広く中国の各地から、そして世界各地から人々が訪問する上海万博の機会を捉えて、ポップカルチャーから伝統音楽、ドキュメンタリー映像など、日本文化の多様な魅力を、上海にて紹介します。

邦楽公演 in 上海万博

「日本のうた囃子 ~唄、笛、三味線、太鼓による日本の響き~」

同時上映「中国人高校生が見た日本」

日本人若手アーティスト6人による邦楽公演。ソロで、複数で、あるいは全員揃って、唄、笛、三味線、そして和太鼓というシンプルな構成から、さまざまな音とリズムを紡ぎ出します。伝統楽器を用い、日本の民謡に根ざしながらも、新たな表現を模索しつつ繰り広げる音楽の世界は、中国全土から集まる万博来場者のみなさんを魅了することでしょう。

公演の合間に、「中国人高校生が見た日本」と題して、国際交流基金日中交流センターの招へいで日本各地に留学している中国の高校生が、留学生活、新しい友達と家族、日本での出会いや挑戦について、映像を通じて日本語で語ります。(中国語・英語字幕、中国語ナレーション付き)

実施期間 2010年6月7日(月)午後~6月10日(木) 4日間

邦楽公演は11時から19時まで、毎正時から15分間(ただし13時を除く)

映画上映は10時から20時まで、随時(邦楽公演の実施時を除く)

実施場所 上海万博会場「日本館」イベントステージ



日本のドキュメンタリー映画上映会

上海電視台が主催する「上海テレビ祭」のドキュメンタリー部門(通称:MIDA)において日本のドキュメンタリー映画を上映。上映予定作品は『NARA: 奈良美智との旅の記録』、『タイムグラバあちゃん』、『ヨコハマメリー』など8作品。

実施期間 2010年6月7日(月)午後~6月11日(金) 5日間

実施場所 Shanghai Media Group 建物内、上海市内の映画館

「キャラクター大国、ニッポン」展、「都市と建築」展

ハロー・キティやウルトラマンなど、日本社会でブームを引き起こした国民的キャラクターを幅広く紹介する「キャラクター大国、ニッポン」展、そして1960年代に盛り上がりを見せた、丹下健三や黒川紀章など日本を代表する建築家からの日本都市への提案をテーマとした「都市と建築」(仮題)展。この秋、上海を皮切りに、世界各地を巡回します。

実施期間 「キャラクター大国、ニッポン」展は9月から10月上旬、

「都市と建築」展は10月中旬~11月上旬を予定

実施場所 上海市内(未定)

詳細はこちら: <http://www.jpff.go.jp/j/culture/new/1005/05-02.html>

お問い合わせ: 国際交流基金 海外事業戦略部 海外事業課 担当: 佐治(さじ)

電話 03 5369 6058 FAX: 03 5369 6035 E-mail: Akira_Saji@jpff.go.jp